

埼玉佛教

平成27年10月 第204号

平成27年10月5日 発行

No.204

〒330-0063

さいたま市浦和区高砂4-13-18

一般財団法人 埼玉県佛教会

電話 (048) 861-2138

FAX (048) 864-6649

発行人 萩野 映明

http://saibutu.net

印刷所 関東図書株式会社



主催者を代表してあいさつする木村盛雄副会長（埼玉会館・平成27年9月8日〔火〕）



埼玉県佛教青年会による梵字作品展
《奉詠大会ロビーにて》

目次	
▼第67回埼玉県各流 讃佛歌奉詠大会……………	2
▼第37回埼玉県佛教徒大会 ・蓮田市の紹介……………	4
▼振り込め詐欺にご用心！ トピックス……………	6
▼「埼玉県宗教連盟」講演会……………	7
▼「埼玉同宗連」総会／研修会……………	8
▼「埼玉県佛教保育協会」……………	9
▼「寺院名簿」の訂正について （お詫び）……………	10
▼厚生年金加入促進問題の経緯と 現況に関する連絡会報告……………	11
計報……………	12
事務局日誌……………	12
編集後記……………	12

第67回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

◆平成27年9月8日(火)、埼玉会館大ホールにおいて埼玉県各流讃佛歌奉詠大会が開催された。本大会は今年で第67回を迎える大会となった。参加者は780名、参加支部・講は別掲の通り。今年の記念品クリップの色は青色。講員さんの中に、輪袈裟に付けている方が居た。

来年は埼玉会館が改修工事で休館のため、会場が大宮ソニックシティとなる。開催は、平成28年9月7日(水)を予定。

◆模範奉詠 (奉詠順)

◇浄土宗

- ・浄土宗詠唱指導普及委員
- ・一級詠唱教司

三浦 正英昭 師(神奈川県)

曲目『追善供養和讃』

『きよみずの御詠歌』

◇真言宗智山派

- ・密厳流遍照講指導師範 詠秀

吉岡 光雲 師(東京都)

曲目『慈照院詠歌(千鳥)』

◇曹洞宗

- ・梅花流特派師範

牧野 義貞 師(狭山市)

曲目『誓願御和讃』



◆賀儀(一覽)(順不同)

ありがとうございました。

◇東京都・観音寺

吉岡光雲 様

◇鴻巣市・勝願寺

藤田得三 様

◇川口市仏教会

山口正純 様

◇川口市・密蔵院

山口正純 様

◇さいたま市・東泉寺 河野亮玄 様

◇さいたま市・宝性寺

相川孝翌 様

◆運営協力(順不同)

机・椅子のご提供、ありがとうございました。

◇多福院 様(戸田市)

◇大應寺 様(富士見市)

◇遍照院 様(上尾市)

◆参加支部・講(一覽) 敬称略

参加支部・講名〔市町・流派〕

紅組

埼玉第四教区寺庭婦人会

〔春日部市・密蔵〕

埼玉第十・十一教区寺庭婦人会

〔鳩山町・密蔵〕

埼玉第六教区寺庭婦人

御詠歌同好会〔加須市・密蔵〕

埼玉第一教区寺庭婦人会

〔川口市・密蔵〕

埼玉第二教区寺庭婦人会

〔戸田市・密蔵〕

廓信寺支部

〔さいたま市・吉水〕



寶幢寺支部〔志木市・密蔵〕

龍蔵山支部〔鴻巣市・密蔵〕

法恩寺支部〔越生町・密蔵〕

多福院支部〔戸田市・密蔵〕

石上寺支部〔熊谷市・密蔵〕

観福寺支部〔白岡市・密蔵〕

宝性寺支部

〔さいたま市・密蔵〕

高輪寺支部〔久喜市・密蔵〕

吉祥院支部〔久喜市・密蔵〕

眞藏院支部〔宮代町・密蔵〕

円蔵院支部

〔さいたま市・密蔵〕

錫杖寺支部〔川口市・密蔵〕

医王寺支部 (門前)

- 〔さいたま市・密蔵〕
浄相院支部 (川口市・吉水)
- 曹洞宗埼玉県第一宗務所寺族会
〔羽生市・梅花〕

泉蔵院支部

- 〔草加市・密蔵〕
正法院正詠会 (久喜市・密蔵)

大應寺支部

- 〔富士見市・密蔵〕
蓮花院支部 (加須市・密蔵)

大智寺支部

- 〔坂戸市・密蔵〕
馬頭院支部 (杉戸町・密蔵)

上尾遍照院支部

- 〔上尾市・密蔵〕
真宗寺支部 (熊谷市・密蔵)

宝性院支部

- 〔杉戸町・密蔵〕
永楽寺 (深谷市)

見 圓福寺支部

- 〔春日部市・吉水〕

白組

埼玉第五教区寺庭婦人会

- 〔宮代町・密蔵〕

埼玉第八教区寺庭婦人会

- 〔吉見町・密蔵〕

埼玉第十二教区寺庭婦人会

- 〔坂戸市・密蔵〕

埼玉第九教区寺庭婦人会

- 〔皆野町・密蔵〕

埼玉第三教区寺庭婦人会

- 〔伊奈町・密蔵〕

埼玉第一教区智山青年会

- 〔川口市・密蔵〕

大榮寺支部

- 〔坂戸市・密蔵〕
法鈴寺紫陽花会

今泉山支部

- 〔川島町・密蔵〕
隨泉寺支部 (吉見町・密蔵)

吉水講埼玉教区本部

- 〔川口市・密蔵〕
長田寺梅花講 (川越市・梅花)

清蔵院支部

- 〔越谷市・密蔵〕
善徳寺支部 (久喜市・密蔵)

本庄市・密蔵

- 〔本庄市・吉水〕



真光寺支部

- 〔熊谷市・密蔵〕
有勝寺支部 (本庄市・密蔵)

常榮寺支部

- 〔久喜市・密蔵〕
迎盛院支部 (久喜市・密蔵)

光明院支部

- 〔川口市・密蔵〕
埼玉第二教区智山青年会 (蕨市・密蔵)

医王寺支部 (西堀)

- 〔さいたま市・密蔵〕
龍福寺支部 (坂戸市・密蔵)

西福寺支部

- 〔川口市・吉水〕
遍照院支部 (久喜市・密蔵)

医王寺支部 (日向)

- 〔さいたま市・密蔵〕
三光院御詠歌の会

大串山支部

- 〔朝霞市・密蔵〕
円心寺支部 (吉見町・密蔵)

密蔵院支部 B班

- 〔本庄市・吉水〕
密蔵院支部 A班 (川口市・密蔵)

清浄寺

- 〔川口市・密蔵〕
明星院支部 (吉川市)

見 明星院支部

- 〔桶川市・密蔵〕

見 プログラム順・見…見学

- 〔アログラム順・見…見学〕

新年賀名刺広告



について

平成28年1月初旬に発行予定の「埼玉佛教」新年号に名刺広告を左記の通り募集いたします。皆様のご協力をお願い致します。

記

サイズ 43mm(横)×61mm(縦)

金額 一万円

申込方法 連絡先を明記の上、

原稿をFAX【048(866)6649】又は郵送にて、事務

局までお送りください。後ほど

事務局から確認の連絡を致します。

過去の名賀名刺広告と同じ

場合は、お電話でも承ります。

【発行後、掲載紙と振替用紙を

お送り致します】

申込先 埼玉県佛教会事務局

〒330-0063

浦和区高砂4-13-18

☎048(861)2138

第37回埼玉県佛教徒大会開催地紹介

《蓮田市の紹介》

蓮田市は埼玉県の東中部に位置し、さいたま市、桶川市、上尾市、久喜市、白岡市、北足立郡伊奈町に隣接。高度経済成長期以降にかつて水田・森林等であった元荒川周辺の低地を中心に宅地造成が行われ首都圏のベッドタウンとなっているが、市内北西部や東部には田園や自然が多く残されている。JR東北本線（宇都宮線）蓮田駅は、埼玉県蓮田市本町にある、東日本旅客鉄道東北本線の駅。「宇都宮線」の愛称区間に含まれており、上野駅発着系統と新宿駅経由で横須賀線に直通する湘南新宿ライン、上野・東京駅経由で東海道線に直通する上野東京ラインが停車する。東北自動車道が市内を縦断するものの、市内にインターチェンジは無いため、東北道利用時は久喜インター

や、岩槻インターから利用することとなるが、平成25年2月4日、蓮田サービスエリアにスマートインターが設置され利便性が向上した。都心からわずか40^キの圏内にありながら、元荒川や黒浜沼など豊かな自然環境に恵まれている。

《名所旧跡》

「蓮華院弥陀堂」

ここが「蓮田」の地名発祥由来の地といわれる。天平15年



（743年）、聖武天皇が諸国巡察のため、東国に僧・義澄を派遣した。一夜をこの弥陀堂で過ごした義澄は翌朝、前方の沼田に広がる蓮の花のあまりの美しさに心を打たれ、この堂を「蓮華院」と名付けた。それ以来この地が「蓮田」と呼ばれるようになったという伝説が残っている。



「黒浜貝塚」

関東地方を中心とした縄文時代前期中葉「黒浜式土器」の標式遺跡・貝塚として平成18年7月28日に国指定記念物（史跡）に指定された。集落部分には北

側谷部に向かつて開口する東西50^ミ、南北40^ミの窪地状の広場を取り囲むように住居跡51軒、土坑約50数基、生活面廃棄貝層5ヶ所が存在し、範囲の広い史跡となっている。

「寅子石」

市の最南端、蓮田市馬込字辻谷の共同墓地には、鎌倉時代に建立された県下で2番目に大きい高さ4^ミの板碑「寅子石」がある。鎌倉時代の延慶4年（1311年）に唯願法師が真仏法師（親鸞の直弟子）の報恩供養のために建てたものであるが、「昔、この付近の長者の寅子というたいへん器量よしの一人娘がいた。近在の若者からの縁談がひきもきらず、胸を痛めるようになり、自らの命を絶つてしまった。若者たちは大いに悔い悩み、寅子の供養塔を建てた」という伝承があり、地元では「寅子石」と呼ばれるようになった。今でも寅子の命日（3月8日）には、辻谷地区の人々

第37回埼玉県佛教徒大会

《大会テーマ》

『70億人共生の智慧』

入場無料

日時 **平成27年10月5日(月)**

開場(受付開始)12:00・開会13:00・閉会16:00(予定)

会場 **真浄寺「吉祥閣」**

[〒349-0101 蓮田市黒浜983/電話 048-768-8153]

《プログラム》

開会行事

- ①開会のことば
- ②献灯献花 黒浜幼稚園園児
- ③記念法楽 《開経偈、三帰依文、般若心経》
- ④大会会長挨拶 (一財)埼玉県佛教会会長 萩野 映明
- ⑤来賓祝辞
- ⑥諸連絡

記念講演

『インドの一隅から世界を照らす』

・天台宗インド禅定林住職(インド中部ナグプール近郊)、
パンニャ・メッタ協会日本委員会理事長

サンガラトナ・法天・マナケ 先生

特別公演

『ジャワ島のガムラン音楽と古典舞踊』

・ランバンサリ、川島未未さん他

閉会行事

閉会のことば

※内容は変更になる場合があります。

によって供養が行われている。



《特産品》

蓮田といえば「梨」というほど有名で全国に出荷している。明治時代に平野地区で栽培が始まった特産物の梨は、大きくて甘いと評判が高く、8月上旬から幸水が出始め、豊水、長十郎新高と続き10月中旬の新興まで販売され、埼玉県でもトップレベルの栽培面積を誇る。



振り込め詐欺にご用心!



振り込め詐欺なんて、
わたしたちは大丈夫

うちの親はしっかりして
いるし、まだまだ大丈夫



埼玉県の
マスコット
「コバトン」

ちょっと待ってください。そんな自信が危険です!

- ▼埼玉県内では、年間約 32.5 億円 (平成 26 年) の被害が発生
- ▼多くの方が詐欺の手口を知っていながら被害に遭っています

対策 1

「携帯番号が変わった」は必ず確認



- ▼このフレーズは詐欺の決まり文句
元の携帯番号・自宅・職場に電話して必ず確認!

対策 2

詐欺の始まりは電話から。電話にひと工夫



- ▼詐欺被害のほとんどは電話から始まります
電話にひと工夫でシャットアウト!

- 1 まずは、**留守番電話設定** ▶ 犯人は録音を嫌がります
- 2 加えて、**ナンバーディスプレイ** ▶ 知らない番号にはご用心!
- 3 さらに、**対策機器の設置** ▶ 着信前に警告や拒否機能つきなど
いろいろな機種が販売されています

家族の方へ

大切な家族を詐欺被害から守ってください



- ▼ご高齢の方には、電話の設定を苦手と思う方もいらっしゃいます
- ▼帰省のときなどに一緒に話し合ったり、電話の設定を手伝うなど、
大切な家族を詐欺被害から守ってください!

埼玉県防犯・交通安全課 ホームページ

埼玉県 振り込め詐欺対策

検索

トピックス

埼玉県宗教連盟

「平成27年度第18回講演会」

平成27年6月12日(金)、埼玉県宗教連盟(天理教・高橋慶宣理事長)主催の「第18回埼玉宗連講演会」が天理教埼玉教務支庁(さいたま市北区)を会場に開催され、各教宗派から合わせて80名の参加があった。開会行事では、今年度、理事長に就任した高橋慶宣氏(天理教)が主催者あいさつをした。

講演は、上智大学名誉教授のアルフォンス・デーケン氏を講師に招き、『よく生き よく笑い よき死と出会う』を演題に90分の講演。デーケン先生は、昭和34年に来日して以来、カトリックの立場から、日本における「死生学」の第一人者として活躍し

てきた。日本では「死」はタブー視されているが、デーケン先生は上智大学で死の哲学を取り上げた授業を行ってきた。

以下、講演内容一部抜粋

よき死を迎える為の「死」への準備教育は決して暗いことではありません。なぜなら「死」について学ぶことは、時間の貴さを感じて、もっと一生懸命生きることに繋がるからです。中世カトリックの人たちは「人間はいずれも、いつかは死を迎える。だから、一生涯は死の芸術を学ぶべきものである」と考え



ていて「死の芸術」を冠した著書がいくつも出版されました。動物は死を迎えると消え去りますが、人間は肉体が衰弱のプロセスの中にあっても、人間として精神的に成長できることがありうるのです。例えば黒澤明監督の「生きる」という映画では、癌で余命幾ばくもないと知った主人公が、これまでの無意味な人生を悔い、最後に子供達の為に公園を建設しようと奔走する姿が描かれています。また米国のジョン・ウエイン監督は、自身が癌の宣告を受けた際、基金を集め癌研究所を設立し、その研究によって世界の大勢の患者が救われました。彼はカトリック教徒として死へのプロセスの中で人の為に生きることの重大さを学んでいたのです。

しかし、死というストレスの多いテーマについて学び、自分なりの死生観を身につけることは簡単なことではありません。そこで、どうしてもユーモア感覚が必要になります。ユーモアはよくジョークと混同されますが、はっきりと区別する必要があります。ジョークは言葉の使い方やタイミングなどのテクニクですが、ユーモアは心からの愛の表現です。相手に対する思いやりがユーモアの原点なのです。



みんなを笑わせようと努力していた姿は私にとって生涯の貴重な体験です。

また、こうしたユーモアのセンスは生まれつきの才能ではなく、度重なる失敗を通して生まれるものです。私の母国ドイツには「ユーモアとは、にもかかわらず笑うことである」という有名な定義があります。苦しんでいるときこそ、相手に対する思いやりとして笑顔を示すことが、深みのあるユーモアなのです。

来日してまもない私を知っていた日本語は「サヨナラ」と「フジャマ」でした。しかし「フジャマ」は誤りで、正しくは「フジサン」だと知って、自分の知っている日本語は「サヨナラ」だけと愕然としました。ある日、日本の家庭の食事に招かれたことを日本語が上手なアメリカ人の友人に相談したところ、3つのルールを教えてくださいました。先ず、いつもニコニコしていること。次に、会話の途中で時々うなづくこと。最後に、たまに

「そうですね」と言うこと。私には、この3つのルールをよく暗記して出掛けました。美味しい食事をいただきながら、ニコニコして、時々うなずいて、たまに「そうですね」と言うとその家の奥さんはとても喜んでくれました。しかし、大きな危機が食事の終わり頃訪れました。奥さんが「おそまつさまでした」と言った時、今までで一番丁寧に「そうですね」と答えてしまったのです。その時の奥さんの表情を見て何かまずいことをしたとを瞬時に悟りました。あとでその意味を調べた時、自分の失敗に怒り、ストレスを感じました。しかし、ユーモラスな経験として笑いのタネにしてしまおうと考えた時、気持ちが楽になったのです。

ユーモアの感覚はストレスや怒りを和らげて人間関係を円滑にしてくれるだけでなく人の心を自由にして人格成長までももたらすものなのです。ユーモアでよく笑い、よき死を迎えてください。

「埼玉同宗連」

第27回総会

平成27年6月16日(火)、第27回総会が開催され、各教宗派から代議員、相談役を含め19名が出席した。平成26年度事業報告、決算、平成27・28年度役員改選、平成27年度事業計画案、予算案について承認され、新議長に栗原英樹師(曹洞宗埼玉県第二宗務所)が就任した。



第41回研修会

同日午後から第41回「埼玉同宗連」研修会が埼玉会館にて開催され、約80名が参加した。部落解放同盟埼玉県連合会書記長の小野寺一規氏を講師に迎え、「身元調査・土地調査の実態と課題」と題し、ご講演いただいた。

まず、倉持光恭副議長(真言宗智山派)が開会のことばを述べ、続いて主催者を代表して新議長の栗原英樹師があいさつを行った。その後、講師の小野寺一規氏から来賓あいさつをいただいた。

講演は、はじめに身元調査・土地調査の実態として、平成23年のプライム総合法務事務所事件、平成25年の住宅販売会社同和地区土地調査事件、平成26年の県宅建協会・不動産協会のアンケート調査についての説明がなされた。プライム事件は、司



法書士や行政書士の職務上請求書を大量に偽造して身元調査を行い、3万通以上の戸籍・住民票を不正に取得、販売していた事件で、それに連座して、ハローワーク職員から職歴情報、携帯電話会社店長から電話情報、長野県警OBと現役巡査から車両情報などを取得、販売していたルートも発覚し、合計で30名を超える逮捕者が出た。主謀者の供述によれば不正取得の大部分は結婚相手の身元調査であったという。また、土地調査事件やアンケートからは、未だに物件を購入する際に同和地区であ

るか調査を行っている不動産会社が存在していることが分かった。続いて、これらの事件を踏まえて昨年行われた県内7ブロックの意識調査の説明がなされた。この意識調査によって60〜70%の人が「身元調査はある程度仕方ない・身元調査をするのは当然だ」と考えていることや若い世代で「身元調査をするのは当然だ」と考えている人が多くいることなどが明らかにになった。また、今後の課題として、行政書士会などの8士業における研修や罰則の強化、教育現場を含めた市民の啓発、届け出だけで営業できる探偵業法を改正し、国家資格制度することなどが必要であるとの説明がなされた。最後に、本人以外が戸籍・住民票を取得した場合に通知される事前登録型本人通知制度を広く周知し、登録者数を増やすことが重要であることが述べられ、講演は終了。前議長の備前島賢光師（高野山真言宗）による閉会のことばと謝辞の後、閉会となった。

埼玉県佛教保育協会 夏季宿泊研修会

平成27年7月29日・30日、埼玉県佛教保育協会（丹羽義昭会長）は、夏季宿泊研修会を実施した。

北陸新幹線の開通によって移動時間が短縮され、昼前には曹洞宗大本山永平寺に到着した。一行は先ず、決められた食事作法に則り吉祥膳（精進料理）を

いただいた。部屋を移し開会セレモニーとして参加者一同で三帰依文をお唱えし、丹羽会長のあいさつが行われた。開会式の中で永年勤続者表彰が行われ、研修会に参加した先生に表彰状と記念品が贈呈された。続いて吉祥閣4階にある禅堂で坐禅体験。修行僧から坐禅の作法を教わり、線香の香り立つ中で静かな時間を過ごした。そして、布教部部長の渡邊老師による法話を拝聴した後、今年上山した僧侶による説明を聞きながら、永平寺の広い伽藍を拝観した。

翌日は、石川県に移動して日本三大庭園の一つ、兼六園を専門ガイドの案内を聞きながら見学して加賀料理の昼食。食後はひがし茶屋街や近江町市場を自由散策した。

― 参加者の声 ―

「北陸の伝統」

蓮田幼稚園 吉井浩文先生
（長松寺副住職）

この度、1泊2日の永平寺・北陸研修に参加させていただきました。新幹線の開業に伴い、北陸の街は、漆塗りや彫刻、金箔といった古くからある趣を残しつつ未来への期待をあらわにちらずで膨らませているような、そんな活気を感じました。

福井の大本山永平寺にて中食（昼食）を頂きました。食事の最初から最後まで全てに作法があるというのは普段の生活ではなかなか出来ることではありませんが、「いのちをいただく」「いのちと向き合う」といった

その食事の意味するところは現代の私たちにとっても大事なことでだと思えます。作法となると「意味ないよ」「面倒くさいな」と思うこともあるかもしれません。けれども姿勢や気持ち、心がけを形や型に表すことの大切さは、食事に限らず手紙やプレゼントなど、日常の様々な場面で私たちの中に息づいていると思います。子どもたちの中にあ
る気持ちや感性はそうやって形に表すことを通して育まれてきたのではないのでしょうか。

翌日、日本三大名園の一つである兼六園を訪れました。もともと加賀藩主の私庭であったというのですが、歩いて廻りながら景観を楽しむことの出来る庭園として一貫しつつも、それぞれの時代の作庭手法を取り入れ、明治時代以降もそれなりの変遷があったそうです。必ずしもひとつの形式にこだわらない自由さと伝統とを兼ね備えたよ
うな印象を受けました。

近江町市場、ひがし茶屋街は、地域の暮らしの中に佇んでいて



どこか不思議な懐かしさを覚えます。伝統文化といいますが、それはやはり見たり聞いたりしただけで受け継ぐものではなく、変わりゆく暮らしの中に生き続けるからこそ伝統というのだな
と思えました。そしてその伝統がまた新たな文化を生み、これからもきつと多くの人々に向けて発信されていくことでしょう。

『寺院名簿』の訂正について（お詫び）

平成27年7月20日に発行致しました「埼玉県寺院名簿」に下記のとおり誤りがありました。関係者の皆様にご迷惑をおかけしたしましたこと、お詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

尚、寺院名簿記載内容につきまして、誤字・脱字等がございましたら、事務局までご一報くださるようお願い申し上げます。（電話 048-861-2138）

寺院名	寺院番号	掲載頁	【誤】	【正】
一行寺	01060	3	浦和区岸町2-2-15	浦和区岸町2-2-25
歓喜院	05059	9	FAX 048-285-4377	048-287-3349
源永寺	05088	10	(追加)	石山 大十
乗性寺	05092	11	乗性寺	乗性寺知足院
知足院	05093	11		(寺院削除)
安龍寺	06007	11	電話 048-541-4582	048-581-8482
寶幢寺	10015	15	寶幢寺	寶幢寺
大福寺	26009	35	ときがわ町田黒608	ときがわ町田黒624
西福寺	26022	35	FAX 049-296-0585	049-227-3366
寿楽院	39010	55	FAX 048-584-0302	048-584-6552
高秀寺	49013	71	54025残光寺常住	(備考削除)
慶福寺	53001	73	蓮田市蓮田4-105	蓮田市蓮田4-104
医王院	56011	76	宮代町道仏346	宮代町道佛346

寺院追加

掲載頁	寺院番号	寺院名	宗派	住職名	副住職名	郵便番号	住所	電話	FAX	備考
62	41104	玉泉寺	曹洞	赤坂 活翁		347-0047	加須市阿良川560			

厚生年金加入促進問題の経緯と現況に関する連絡会報告

— 加入促進を一時停止 —

公益財団法人全日本仏教会

標記連絡会を7月23日に東京で、7月29日に京都で開催した。加盟団体からの参加者は東京では約30名、京都では約60名と関心の高さが窺えた。

まず、本会より厚生年金保険の適用事業所及び加入の周知について、今までの経緯を説明。

昭和24年7月28日付で当時の厚生年金保険局長通達を根拠に加入促進を図っているが、当時の厚生省や社会保険庁の時代から、今まで十分な周知がなされないまま今日に至っている。

本年の1月から始まった日本年金機構中国ブロックを中心とした年金加入促進が、中国ブロックに留まらず近畿、関東、仙台に波及し、全国レベルで寺院側加入の是非をめぐって混乱が生じている。また、加入促

進についても法律を盾に高飛車な説明をしている地区もあるとの報告が本会によせられている。

本会顧問弁護士の長谷川正浩先生から、この加入促進の問題点について、①平成22年9月1日、文化庁総務課発行の宗務寺

報111号によれば、全国の単位宗教法人の60%が年収300万円以下であることを踏まえること、保険費用の捻出を恒久的に続けることは難しいのではないか。②年金支給年齢である満65歳時点において、年収に応じて年金支給の一時停止・減額となることがある。③そもそも一般

社会において企業退職後の社会保障の一環としてつくられたものと、定年という概念が薄い宗教界では、厚生年金制度自体が馴染まないのではないか。④厚

生年金保険法第6条2項及び同法第9条の文言に反した昭和24年7月28日付の厚生年金保険局長通達は効力を持たない。さらには、寺の任職・代表役員は「業務の対償として報酬を受けている者」ではなく「委任事項の履行に対して報酬を受けている者」(民法648条)なので、この局長通達にも該当しないとの見解が示された。

本会の対応として、日本年金機構中央本部を初めとし、文化庁宗務課、日本年金機構の監督官庁にあたる厚生労働省年金局に対して加入促進に係る現場の混乱を訴え、また継続的な話し合いの場を設けたいことを進言してきた。その結果、厚生労働

省年金局は日本年金機構中央本部へ指示を行い、全国9ブロック本部から管内の年金事務所に對して7月6日付で、宗教法人への加入促進の一時停止の措置がとられた。

以上、報告のとおり全国の御寺院におかれましては、すみやかに厚生年金に加入しなければならぬことは、取り敢えずなかりました。7月6日以降に加入の案内がきた場合は、本会総務部までご連絡下さい。また、ご寺院によっては次世代のため厚生年金に加入するという判断もあり、現在の布施収入などでは加入が困難という判断もあるかと思えます。本会としては、ご寺院がおかれている様々な環境を踏まえながら、厚生労働省年金局と厚生年金制度、法律、通達を含んだ論点を整理・共有し、制度加入に関する話し合いを続けてまいります。

全日本仏教会・機関誌「全仏」第612号から抜粋しました。



訃報

お悔やみ申し上げます。

平成27年 8月

16日 本庄市宗真院 (曹洞)

見目 晴哉 師 (83歳)

22日 本庄市不動寺 (豊山)

西村 弘雄 師 (90歳)

9月

8日 坂戸市永源寺 (曹洞)

山崎 禪明 師 (87歳)

15日 久喜市長龍寺 (曹洞)

島崎 龍夫 師 (79歳)

事務局日誌

平成27年 7月

23日 ▼ 「全仏」厚生年金連絡会

(明照会館 / 本間主事補)

29日 ▼ 「埼玉保」夏季研修

(〜30日永平寺、兼六園)

30日 ▼ 「全仏」勸募部会 (明照会館 / 本間主事補)

8月

13日 ▼ 事務局お盆休み (〜14日)

23日 ▼ 蓮田市仏教会主催・県佛

大会実行委員会 (蓮田市・慶福寺 / 金子事務局長)

24日 ▼ 臨時教化委員会・奉詠大

会打合せ会 (埼玉会館)

9月

2日 ▼ 埼玉青「写仏」

8日 ▼ 第67回埼玉県各流讃佛歌

奉詠大会 (埼玉会館)

10日 ▼ 「埼玉同宗連」研修会 (埼玉会館)

追悼慰霊祭・記念法話 (歡喜院 / 小池主事補)

16日 ▼ 妻沼地区仏教会・戦没者

業 (浦和ワシントンホテル)

30日 ▼ 「埼玉青」40周年記念事

業 (浦和ワシントンホテル)

(鯉)

編集後記

スーパールの陳列棚にあった西瓜がぶどうや柿に変わり、食卓に栗ごはんが並ぶと秋が近づいたことを体感する。美味しい秋の味覚をいただくために、外をジョギングしているとキンモクセイの優しい香りが、どこからともなく漂ってくる。この時節の楽しみでもあります。先日、埼玉会館の北庭に金木犀の木を見つけて少し幸せを感じる私。

(鯉)



9月16日記念法話 (妻沼・歡喜院)

厚生年金等の加入依頼への対応について

日本年金機構の事務所から「厚生年金保険及び健康保険加入促進にかかる協力依頼」と題する書面が全国各地の寺院へ届きました。これをうけて、全日本仏教会が様々な問題点を指摘し、厚生労働省年金局及び日本年金機構と協議を重ねているところです。(本紙11頁参照)

つきましては、日本年金機構から協力要請等がございましたら、「全日本仏教会の対応を待つ。」とご返答いただくとともに、事務局へご一報くださいますようお願い申し上げます。

合掌

一般財団法人 埼玉県佛教会 事務局 [TEL : 048-861-2138 / FAX : 048-864-6649]